

2023年度（令和5年度）

# 第1回 びんご圏域活性化戦略会議

---

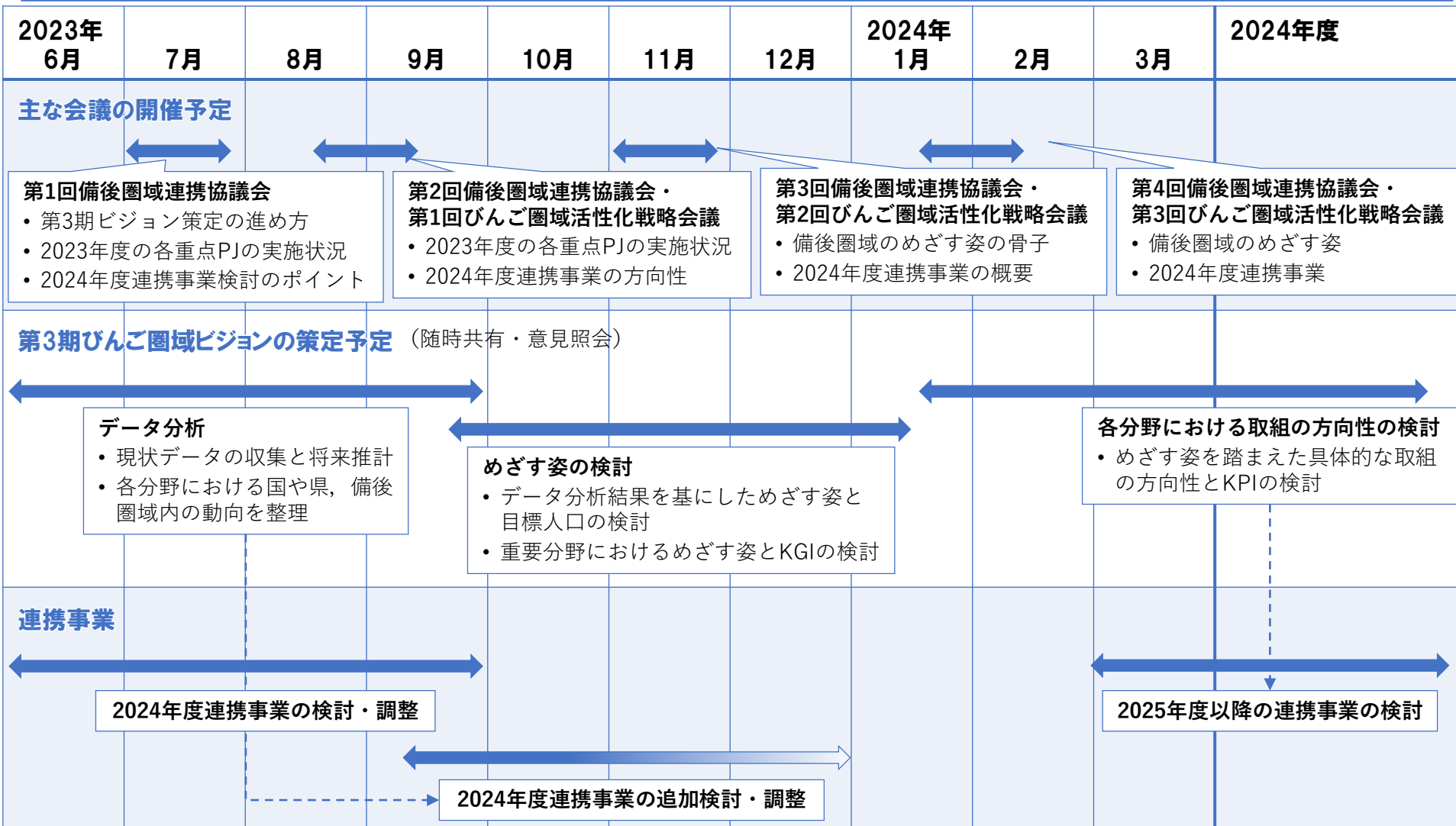
2023年8月18日（金）

# 1 開会

# 2 協議事項

# 1. 2023年度の全体スケジュール

- 2023年度は第3期びんご圏域ビジョンの策定に向け、各分野におけるデータ分析や将来推計を行う。その結果を会議で提示し、めざす姿について御議論いただき、第3期ビジョンの基本構想にあたる部分を作る。
- 第2期びんご圏域ビジョンにおける重点プロジェクトの取組状況を共有・議論し、第3期ビジョンに向けたデータ分析の結果も踏まえて2024年度の連携事業を検討する。



# II. 2024年度の連携事業構築の視点

連携の分野	連携事業	
経済	<p><b>01 びんごイノベーションエコシステムの形成支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 圏域内の経済好循環の促進           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ デニムプロジェクト</li> </ul> </li> <li>● <b>デジタル化の推進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中小企業のデジタル化支援</li> <li>・ 中小企業のデジタル人材の育成</li> </ul> </li> </ul> <p><b>02 広域観光・交流</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 戦略的な<b>観光振興</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広域観光</li> </ul> </li> </ul>	<p><b>新たな連携事業の構築</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 多様な人材の確保           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外国人材の雇用対策</li> </ul> </li> <li>● <b>カーボンニュートラルの達成</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 再生可能エネルギーの地産地消</li> <li>・ カーボンオフセットの研究</li> </ul> </li> </ul>
都市機能	<p><b>03 医療連携強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 高度なサービス提供に向けた<b>医療</b>の充実           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医師確保</li> </ul> </li> </ul>	
住民サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子どもを生きやすい環境づくり (<b>医療</b>)           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 減少する小児科, 産科への対応</li> </ul> </li> </ul> <p><b>04 行政サービス効率化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 子どもを育てやすい環境づくり (<b>保育</b>)           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育所の広域入所</li> <li>・ 病児・病後児保育への展開検討</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>カーボンニュートラルの達成</b></li> <li>● 選ばれるための<b>外国人材</b>への対応           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多言語対応</li> <li>・ 生活支援</li> <li>・ 教育環境の充実</li> <li>・ 交流促進</li> </ul> </li> </ul>

## 01

### びんごイノベーションエコシステム 形成支援プロジェクト

ECONOMY

✓ 圏域内の経済循環が強化されるとともに、新たな事業が生まれる持続可能な圏域経済を構築するために重点的に取り組むプロジェクト

#### (1) 圏域内の経済循環の促進

- ・ 備中備後ジャパンデニムプロジェクトの更なる展開

#### (2) 多様な主体との連携

- ・ まちを良くする多様な主体を発掘・育成
- ・ 兼業・副業人材の活用促進

#### (3) デジタル化の推進

- ・ 中小企業のデジタル化支援
- ・ 中小企業のデジタル人材の育成

# (1) 圏域内の経済循環の促進

## ● 備中備後ジャパニデニムプロジェクトの更なる展開

### 実施状況

#### ➤ 事業者の動きが活発に

備後圏域の事業者と連携し、知名度向上や販路開拓による売り上げ増加を図ってきた。事業者自ら展示会に出展するなど、プロジェクトをきっかけに様々な取組に挑戦する事業者が増えている。

#### ➤ ロードマップの作成

今年度はこれまでの取組を振り返り、デニム市場の調査・分析等を行い、今後の方向性を示すロードマップを作成する。

▼備中備後デニム商品化コンテスト2022（応募総数303件）



最優秀作品『風呂敷』



優秀作品  
『ランドセルカバー』

### 今後の動き

- 事業者ヒアリングや意見交換会を実施し、現状・課題を把握する。

### 2024年度に向けて

- デニム市場の調査・分析や事業者ヒアリング結果を活用し、新たな連携事業の構築に取り組む。

## 国内初！クロキ（株）（井原）とLVMHメティエダールがパートナーシップ協定を締結

### <概要>

- LVMHメティエダールは、モエ・エネシー・ルイ・ヴィトン（LVMH）の子会社で、日本企業との協定は今回が初
- 伝統技術と最新技術を融合しながらデニム開発を続けるクロキの取組が、LVMHメティエダールの理念と合致し、協定が実現

### <具体的な協定内容>

- LVMHブランドデザイナーとの素材開発の連携や素材の優先調達
- LVMHの他の支援企業との交流や海外での研修機会の提供



## (2)多様な主体との連携

### ● まちを良くする多様な主体を発掘・育成

#### 実施状況

- 課題解決に関わる人材の発掘・育成を目的に、学びやチャレンジの場として、民間事業者等との連携によりセミナーやビジネスコンテストを開催

#### 【参考】

- 第2回せとうちビジネスコンテスト出場者募集中（7月1日～）  
備後圏域の全市町から後援をいただき、幅広いエリアからの出場者を募集

#### 今後の動き

- せとうちビジネスコンテスト（10月開催）
- ソーシャルビジネスセミナー（冬開催）  
圏域内の大学生を対象に実施予定

### ● 兼業・副業人材の活用促進

#### 実施状況

- 兼業・副業人材マッチング支援を行う事業者を決定（2023.5.24）
- 備後圏域6市2町における兼業・副業人材マッチング支援を開始（2023.8.16）

#### 今後の動き

- 圏域内の中小企業での事業実施と伴走支援
- 兼業・副業活用セミナーの開催（2023.9.14）

#### 2024年度に向けて

- 福山市、備後圏域を活躍の場とする人材の育成に向けて、民間事業者等との連携を継続

#### 2024年度に向けて

- 圏域内企業における兼業・副業人材の活用を促し、企業の経営力強化や、備後圏域への関係人口の増加につなげる



▲せとうちビジネスコンテスト



▲備後圏域企業副業・兼業人材活用補助事業



# (3) デジタル化の推進

## ● 中小企業のデジタル化支援

### 実施状況

#### ▶ びんごデジタルラボ

テーマ別に、ものづくりや地域活動などのデジタル化の課題・成功事例を議論・共有

(2023年度第1回びんごデジタルラボ (5.26) 参加者49人)

(2023年度第2回びんごデジタルラボ (7.28) 参加者24人)

#### ▶ びんごICT相談所

デジタル化の個別相談への対応や現地での伴走支援を実施

### 今後の動き

- ・ 企業向けデジタル展示会・商談会の開催
- ・ 企業向けデジタル企業現地見学会の開催  
(株式会社太陽都市クリーナー (府中市)で開催予定 (8.24) )
- ・ 備後圏城市町への出張ICT相談を実施予定 (びんごICT相談所)

## ● 中小企業のデジタル人材の育成

### 実施状況

#### ▶ ものづくり大学

企業の経営力強化に資するデジタル人材を育成するため、AI・DXに特化した講座を中心に実施

- ・ポリテク連携講座 6 講座受講者33人 (2023.7月末時点)
- ・オーダーメイドセミナー 1 講座 3 人 (2023.7月末時点)
- ・びんごAI講座 (経営者向けセミナー) (7.27) 参加者52人

#### ▶ 「びんごデジタルラボ・アカデミー」を開講 (2023.6.1)

福山市内の技術展示場で、5G・AI等を活用したデジタルツールを体験しながら学ぶことが可能

### 今後の動き

- ・ びんごAI講座 (実務者向け講座) の開講
- ・ びんごデジタルラボ・アカデミーにおいてコンテンツの拡充

### 2024年度に向けて

- ・ 急速に実装が進む生成AIなど、企業の関心が高いテーマを産業支援団体と連携して事例発信する。(びんごデジタルラボ)



▲びんごデジタルラボの様子

### 2024年度に向けて

- ・ 企業における人材育成等の経営力強化に注力するため、講座・セミナーの受講者増加を図る。



# 企業向けデジタル展示会・商談会「びんごデジタルラボEXPO」の開催と出展企業について

## 展示会概要

多数のIT企業等の情報を収集でき、マッチングを促進する中小企業向けデジタル展示会を開催

### ➤ 開催日

2023年（令和5年）10月19日（木）

### ➤ 場 所

広島県立ふくやま産業交流館（ビッグ・ローズ） Dホール

### ➤ 内 容

- デジタル化に関するソリューションを展示
- 出展企業と情報交換が可能なコミュニケーションブースを設置
- 基調講演を実施



▲展示会イメージ

## 出展企業

### ➤ 出展企業数

- 7月に出席企業を募集
- 現在30社程度で調整中

### ➤ 概要

次のいずれかについて中小企業向けのソリューションを有するIT企業等

- バックオフィス業務効率化、IoT&AI、セキュリティ、オフィス改革、工場DX



▲会場：ビッグローズ

# 02

## 広域観光・交流プロジェクト

# TOURISM

✓ 圏域資源をつなぎ、新たな人の流れを創出するために重点的に取り組むプロジェクト

- **新たな観光コンテンツの造成**

# ● 新たな観光コンテンツの造成

## 実施状況

### ▶ 高梁川流域圏域・備後圏域周遊型旅行商品造成支援事業 (2023.6.30~)

両圏域の観光資源を活用した募集型企画旅行商品(宿泊)の造成・販売を行う旅行者に対して、補助金を交付。

- 補助対象者 旅行業法第3条の規定による登録を受けた旅行者
- 補助対象経費 圏域内の宿泊施設に1泊以上宿泊する旅行商品の造成に係る費用
- 補助金の額 宿泊を含む旅行商品 2,000円×ツアー参加人数×宿泊数  
※1営業所につき上限20万円  
※原資がなくなり次第終了
- 補助対象期間 令和5年7月1日(土)~令和6年2月29日(木)まで



▲福山城

### ▶ 井原鉄道を活用した「地酒・ワイン観光列車」観光コンテンツ造成業務

高梁川流域圏域と備後圏域の日本酒酒蔵、ワイン醸造所をテーマとして、両圏域を結ぶ井原鉄道を活用した観光コンテンツを開発するためのツアーを実施。現在プロポーザル実施中。8月下旬に事業者決定。

- 開催時期 令和6年1月~3月
- 開催本数 2本(備中・備後地酒観光列車, 備後・備中ワイン観光列車)
- 内容(案) 酒蔵職人・ワイナリー職人によるおもてなし,  
沿線付近の観光スポットを活かした特別な体験の提供 など



▲日本酒&ワイン列車(イメージ)

## 2024年度に向けて

備後圏域と高梁川流域圏域の各市町における代表的な観光資源及び新たな地域資源を結び付けた周遊ルートを確認し、圏域間の関係人口の増加をはじめ、宿泊者増、観光消費額増につながる取組を推進していく。

# 03

## 医療連携強化プロジェクト

MEDICAL CARE

✓ 医療人材の確保など医療提供体制の確保に向けた環境を整備するために重点的に取り組むプロジェクト

- **医師確保に向けた取組**

# ● 医師確保に向けた取組

## ① 人口・出生数の状況

( ) : 増減率

備後圏域	2010年		2015年		2022年	2010年→2022年
人口	893,468	→	875,159 (▲2.0%)	→	824,774 (▲5.8%)	(▲7.7%)
出生数	7,350	→	6,828 (▲7.1%)	→	5,046 (▲26.1%)	(▲31.3%)

総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態、世帯数」

## ② 医師の状況

### ● 医師偏在指標一覧

上位33.3%      下位33.3%

区分		医師	小児科医師	分娩取扱医師	(参考) 構成自治体
都道府県	全国	255.6	115.1	10.6	
	広島県	254.2	101.1	8.6	
	岡山県	299.6	124.3	10.3	
二次保健医療圏	広島	298.9	104.7	9.9	広島市, 安芸高田市, 府中町, 海田町, 熊野町, 坂町, 安芸太田町, 北広島町
	広島西	239.1	148.5	3.9	大竹市, 廿日市市
	呉	266.7	116.6	9.9	呉市, 江田島市
	広島中央	200.4	75.4	6.0	東広島市, 竹原市, 大崎上島町
	尾三	198.2	93.4	9.4	三原市, 尾道市, 世羅町
	福山・府中	201.3	84.4	7.6	福山市, 府中市, 神石高原町
	備北	219.8	107.5	9.1	三次市, 庄原市
	県南西部	292.8	121.6	12.8	倉敷市, 総社市, 早島町, 笠岡市, 井原市, 浅口市, 里庄町, 矢掛町

二次保健医療圏  
下位33.3%のうち、  
○小児科医師  
最高値：91.7  
最低値：30.8  
○分娩取扱医師  
最高値：7.6  
最低値：0.0

厚生労働省HP「医師偏在指標」

※小児・分娩取扱医師の少なさに加え、小児では開業医の高齢化も懸念される

※2024年度からの「医師の働き方改革」の影響も留意する必要がある

### ③ 分娩取扱医療機関

	医療機関名
①	福山市民病院
②	福山医療センター
③	中国中央病院
④	小池病院
⑤	松岡病院
⑥	井口産婦人科小児科医院
⑦	白河産婦人科
⑧	よしだレディースクリニック
⑨	興生総合病院
⑩	JA尾道総合病院
⑪	長谷川産婦人科
⑫	堀田産婦人科
⑬	よしはらクリニック
⑭	西井ウイメンズクリニック



### 分娩取扱数(備後圏域全体)

約5,000件

※⑥⑧⑫⑭閉院等による影響

▲約1,400件

⇒ 医師確保に向け、広島県や岡山県に要望していく

# 04

## 行政サービス効率化プロジェクト

# SYSTEM

✓ 職員が減少する中でも、行政サービスの質を向上させるために重点的に取り組むプロジェクト

**(1) 保育サービスの拡充**

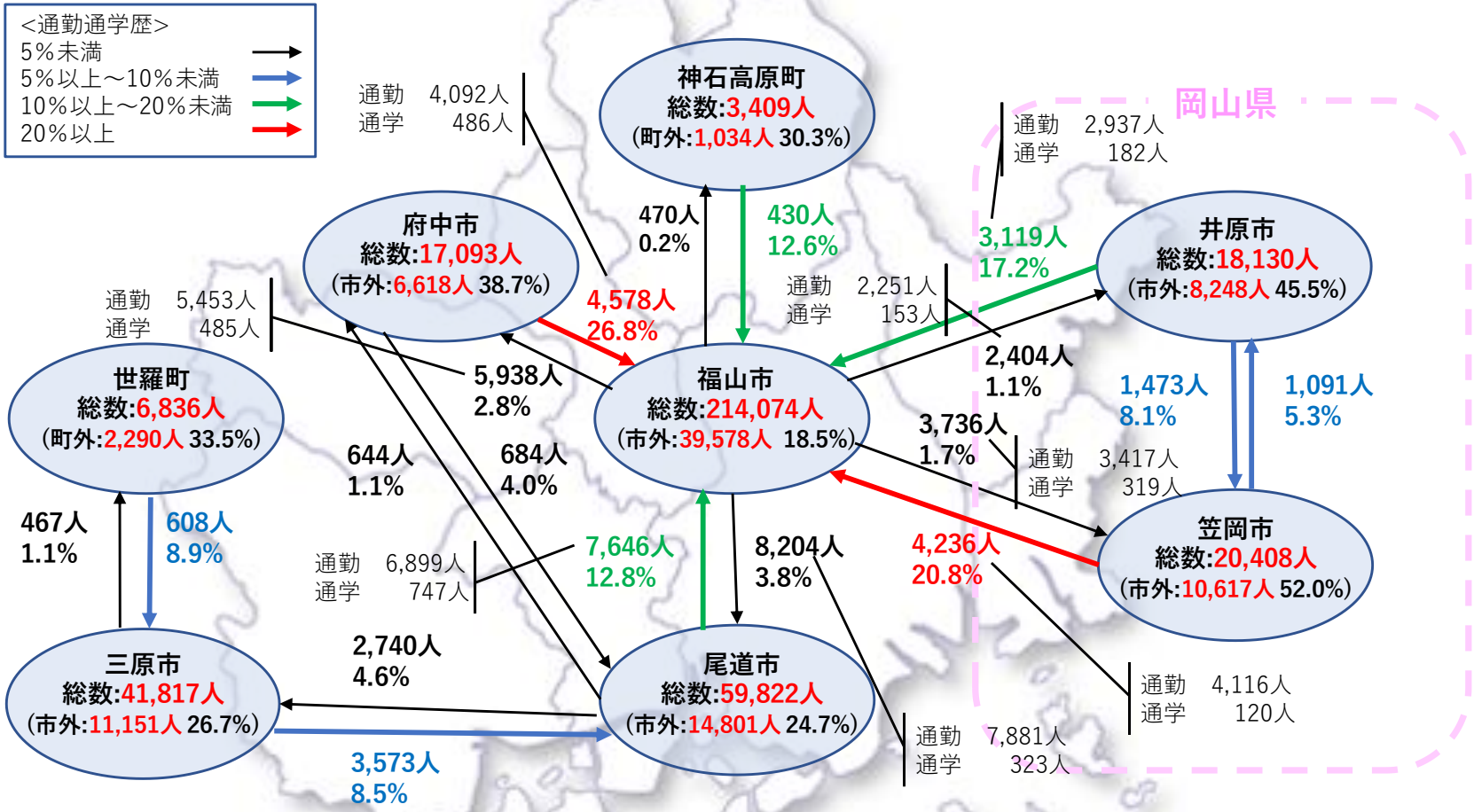
**(2) 医療的ケア児への対応**



# (1) 保育サービスの拡充

## ➤ 通勤通学割合

通勤通学割合が一定程度あるなど、生活する上でのつながりがある備後圏域において、広域入所に関する運用を見直すなど、保育分野における連携につなげる。



総務省「国勢調査(2020)」より作成

## ➤ 保育サービス等の広域連携

### 今後の主な動き

- 広域入所について、備後圏域保育施策検討会議での協議（要件緩和など）
- 病児・病後児保育事業の訪問型について、福山市で実証事業を実施・検証

⇒ 2024年度の保育施設へ入所(園)から、広域入所を拡充

⇒ 病児・病後児保育事業(施設型)の圏域利用の更なる促進

⇒ 病児・病後児保育事業(訪問型)の圏域展開の検討(実証事業のエリア拡大)

### ※病児・病後児保育事業（訪問型）概要

子どもの自宅にベビーシッターが訪問し、保育を行う  
2023年度は実証事業として実施

○対象

「回復期に至らない場合」または「回復期」にある児童

○実施期間

2か月程度（10～11月を予定）

病児・病後児保育（施設型）の状況

		福山市	三原市	尾道市	府中市	世羅町	神石高原町	笠岡市	井原市
施設数	病児・病後児	3		1				1	
	病児		1		1				
	病後児	(1)	1	1			1 (R6.4~)		1
	体調不良時 対応型		(2)		(1)	(1)			
定員		16	8	7	3	なし	2	4	2

※( )は事業実施施設に通所している児童のみ対象、定員には含まない。

## ➤ こどもまんなか応援サポーターについて

- 5/2から子ども家庭庁が、こどもがまんなかとなる社会の実現に向け、こども・若者に対して何ができるのか考えるきっかけづくりとして、取組をスタート
- SNSで「#こどもまんなかやってみた」のハッシュタグをつけて取組を発信する
- 福山市は、7/3に「こどもまんなか応援サポーター」を宣言

⇒ こどもまんなか応援サポーターの圏域への展開

#こどもまんなか  
やってみた



こどもまんなかとは…

こどもや若者の意見を聴き、その意見を尊重し、こどもや若者にとってよいことは何かを考え、自分ができるアクションを実践していきます。  
どんなこどものことも考えていきます。

## (2) 医療的ケア児への対応

### ➤ 医療的ケア児の状況

市町名	担当課	医療的ケア児数	備考	レスパイト施設
福山市	障がい福祉課	96	2020年度福山市調査	有
尾道市	社会福祉課	16	2021年度広島県調査	有
三原市	社会福祉課	7		無
府中市	福祉課	6		無
世羅町	福祉課	3		無
神石高原町	保健福祉係	0		無
笠岡市	地域福祉課	3	2022年度岡山県調査	有
井原市	福祉課	9		有
計		140		

### ➤ 医療型短期入所事業所(レスパイト施設) ※圏域内の全施設

事業所名	住所	運営法人名	定員
広島県立福山若草園短期入所事業所	福山市水呑町	社会福祉法人広島県社会福祉事業団	6床
笠岡市立市民病院	笠岡市笠岡	笠岡市	空床型
井原市立井原市民病院	井原市井原町	井原市	空床型

※福山市調査では、医療的ケア児の保護者の約5割が「レスパイトが必要」と回答している

※福山市だけでなく、備後圏域全体でも不足していると考えられる

⇒ 圏域におけるレスパイト施設の充実に向けた取組を検討(国や県への要望を含む)

## 8/8～ オンライン診療 スタート



### オンライン診療とは

- ▶ スマートフォン等を使って、医師と患者がビデオ通話で診察を行うオンライン診療を導入し、利便性の向上と定期受診の負担軽減を図る。
- ▶ アプリをダウンロードすることで、診療・支払・処方オンライン上で行うことが可能に。

### 対象者

- ▶ 仕事や育児・介護等で通院の時間が取れないなど、受診が困難な再診の人（急遽、対面での受診ができなくなった場合も対象）
- ▶ 初診、検査が必要な人、医師が対面診療が必要と判断した人は、対面診療が必要。



### 利用方法

#### ステップ1

こども発達支援センターに電話



#### ステップ2

アプリのDL・アカウント登録



#### ステップ3

オンラインで診療



#### ステップ4

クレジットで支払い



#### ステップ5

薬・処方箋の受け取り



新たな連携事業の構築

COLLABORATIVE

✓ 第2期ビジョンにおける重点プロジェクトに加え、第3期ビジョンに向けて、先行して構築をめざす連携事業

(1)カーボンニュートラルの達成

(2)外国人材の活用

# (1)カーボンニュートラルの達成

- ✓ 備後圏域の特定事業所排出者のCO2排出量の実数を把握し、より精緻な数値によりデータ分析を行う
- ✓ カーボンニュートラル達成を目標に、産業界と連携した取組を検討

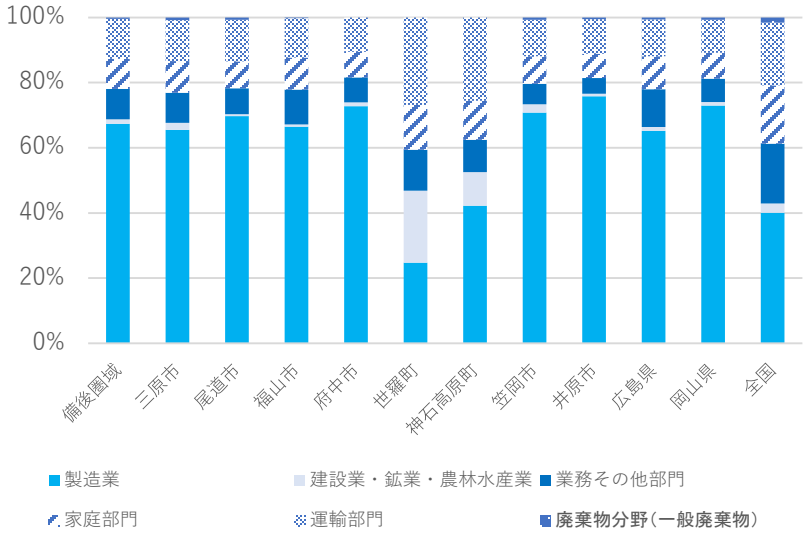
## CO2排出量の整理

- 製造業は製造品出荷額，建設業等は従業者数，家庭部門は世帯数などで按分により推計した値となっている。

## 2024年度に向けて

- 備後圏域全体でカーボンニュートラルを達成することを目標に，民間の取組を支援
- 公共施設の温室効果ガスの削減を推進

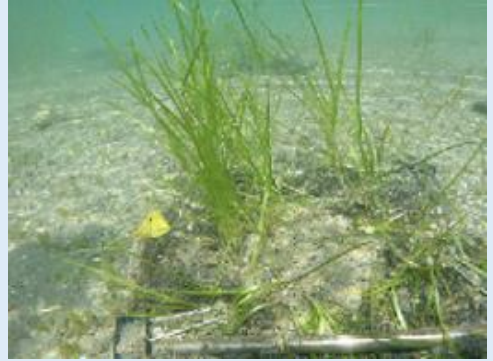
<分野・部門別のCO2排出割合>



出典：環境省「自治体排出量カルテ」

## 【参考】備後圏域内のカーボンニュートラルの取組事例

- 【三原市】 家庭・事業者が行う脱炭素推進の取組への支援
- 【尾道市】 尾道の海のゆりかご（干潟・藻場）再生による里海づくり
- 【福山市】 福山未来エネルギー(株)による再エネの地産地消
- 【世羅町】 低級油脂の燃料化・リサイクル施設の整備
- 【神石高原町】 木質バイオマス発電所の整備
- 【笠岡市】 (株)サラによる木質バイオマス発電事業
- 【井原市】 カーボン・マネジメント推進体制の整備



▲藻場の再生の様子

# (2) 外国人材の活用

- ✓ 外国人留学生を対象とした備後圏域合同企業説明会の検討
- ✓ 技能実習制度・特定技能制度について、国の動向を注視しながら、連携事業を検討

## 備後圏域の現状

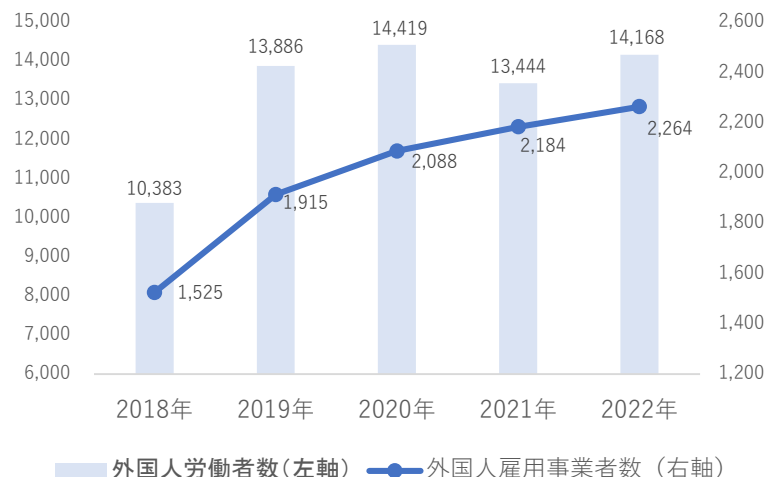
### 外国人労働者数と雇用事業者数

- 外国人労働者数について、2021年に減少したが、復調傾向
- 外国人雇用事業者数については、一貫して増加傾向

### 在留資格の種類と業種

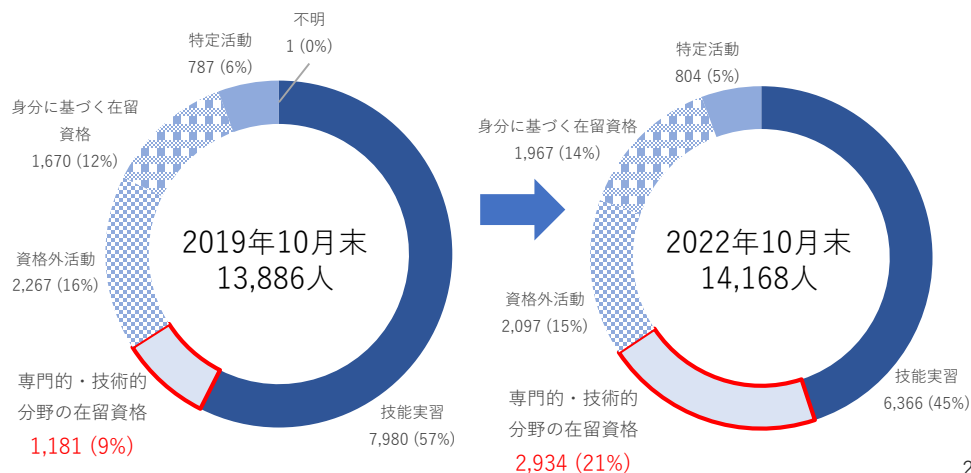
- 専門的・技術的分野の在留資格の割合が増え、技能実習の割合は減少している。
- 新型コロナの影響で技能実習生として新たに来日する人が減少する一方、既に技能実習生として来日していた人が専門的・技術的分野の在留資格に分類される特定技能に移行した結果と推測される。

〈備後圏域の外国人労働者数・雇用事業者数〉



	専門的・技術的分野
就労が認められる在留資格 (活動制限あり)	<u>技能実習, 特定技能, 外交, 公用, 教授, 芸術, 宗教, 報道ほか</u>
身分・地位に基づく在留資格 (活動制限なし)	永住者, 日本人・永住者の配偶者など, 定住者
就労の可否が指定される活動によるもの	特定活動(外交官などの家事使用人, ワーキングホリデーなど)
就労が認められない在留資格	文化活動, 短期滞在, 留学, 研修, 家族滞在 ※資格外活動許可を受けた場合は、一定の範囲内で就労が認められる。

〈在留資格別外国人労働者数〉



## 実施状況

### ➤ 備後圏域担当者会議の開催

各市町の施策及び外国人雇用に関する情報を共有、意見交換

### ➤ 備後圏域の外国人留学生を対象としたアンケートの実施

大学・専門学校に通う外国人留学生の進学・就職状況を把握するため、圏域各市町に対し、アンケート調査を実施

## 今後の動き

- ・ 備後圏域内の外国人留学生を対象としたアンケートや各事業者への聞き取りを参考に、外国人留学生の圏域内就職を促進する施策を検討

## 2024年度に向けて

- ・ 外国人留学生向け備後圏域合同企業説明会の検討
- ・ 技能実習制度・特定技能制度について、国の動向を注視しながら、連携事業を検討

### 【参考】

- ・ 令和4年度外国人留学生向け合同企業説明会（福山市独自）  
日程：2022年10月11日（火）  
場所：ローズコム 大会議室  
参加者：58名  
参加企業：15社  
就職に結びついたもの：なし

	2021年度 卒業・修了	2022年度 卒業・修了
卒業・修了者	506人	482人
進学者	279人	150人
うち市内学校	202人	109人
就職者	128人	174人
うち市内企業	60人	58人
帰国・不明等	99人	158人

▲外国人留学生の進路状況（福山市内の大学・専門学校）



▲説明会の様子



## 【参考】国における技能実習制度・特定技能制度の見直し状況

### ○制度概要

#### 技能実習制度

人材育成を通じて開発途上地域等への技能、技術又は知識の移転による国際協力を推進することを目的とする制度

#### 特定技能制度

国内人材を確保することが困難な産業分野において、一定の専門性・技能を有する外国人の受け入れを目的とする制度

### ○制度の見直しに係る有識者会議の議論の方向性

#### 人手不足が深刻となる中、人材確保の視点を重視した議論を展開

- ・ 現行の技能実習制度は廃止、人材確保と人材育成を目的とした新たな制度の創設を検討
- ・ 新たな制度と特定技能制度の対象職種や分野を一致させる方向で検討
- ・ 両制度において、全ての職種や分野、そして事実上の永住が可能となる在留資格「特定技能2号」の対象分野の拡充を検討
- ・ 国において2023年秋を目途に有識者会議において最終報告書を取りまとめ予定

(出典) 技能実習制度及び特定技能制度の在り方に関する有識者会議による中間報告書 (R5.5.11)

### ○特定技能2号の受け入れ対象の拡大

- ・ 特定技能2号の受け入れ対象を2分野から11分野に拡大(6月9日閣議決定)
  - 【現状】建設、造船・船用工業(溶接区分)
  - 【変更後】上記に加え、ビルクリーニング、素形材・産業機械・電気電子情報関連製造業、自動車整備、航空、宿泊、農業、漁業、飲食料品製造業、外食業

※特定技能1号…在留期間：上限5年まで、家族帯同：不可

特定技能2号…在留期間：上限なし、家族帯同：要件を満たせば可(配偶者・子)

※特定技能1号のうち介護は長期就労可能な別の在留資格があるため、特定技能2号の対象に加えない方向

# 3 報告事項

# (1) 福山市立大学の学部新設について

- ✓ デジタル等の知識・技術を備えた人材を育成するため、情報工学系などの学部の新設に向けて検討を開始
- ✓ 7月21日付で、現状分析・ニーズ調査や設置準備、開設に関する国の支援事業選定校に決定

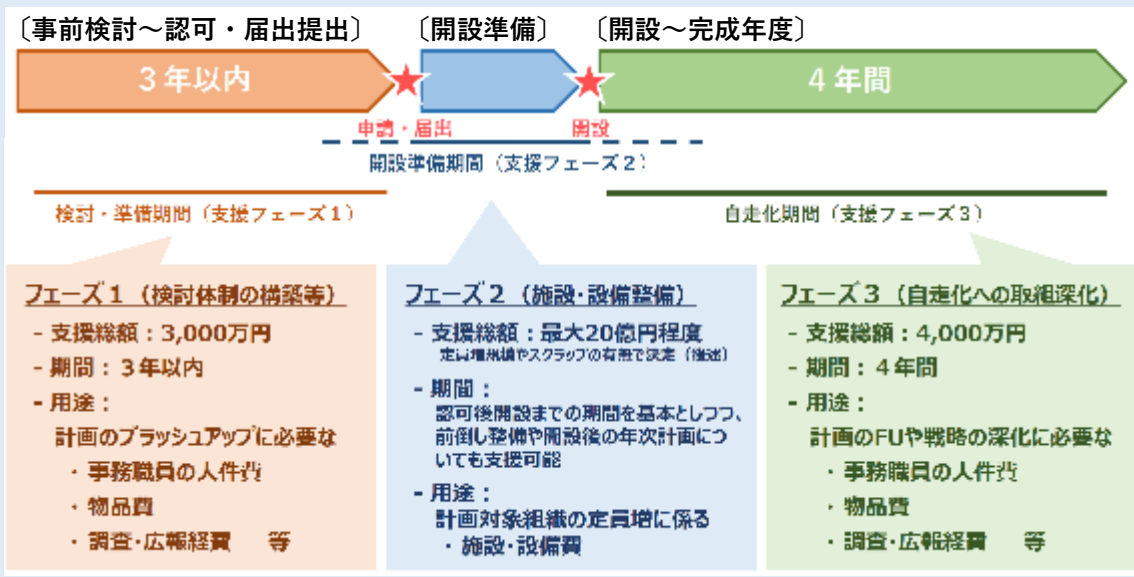
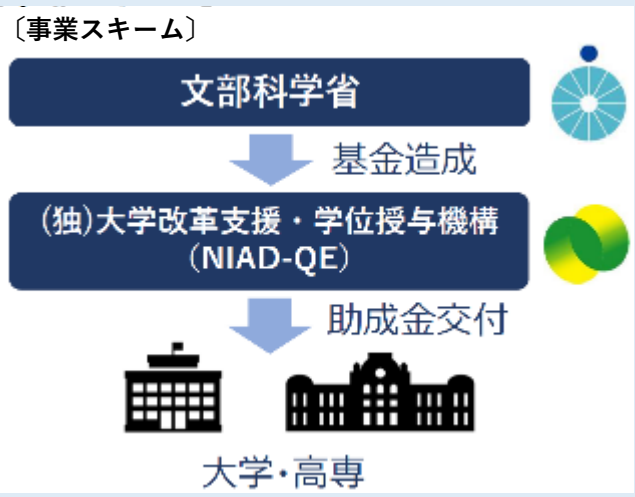
## 2023年度の事業概要

- ・ 福山市立大学の入学者数、就職先等の現状やそれを取り巻く環境、人口動態等を調査・分析
- ・ 圏域内の高校を対象とした進学に関するニーズ調査
- ・ 圏域内の企業等を対象とした採用に関するニーズ調査
- ・ 各調査結果を踏まえた新学部設置に向けた基本構想の策定



開設に向けた具体的な検討・準備を進め、2027年度開設をめざす

### 【参考：国の助成制度の概要】



## (2) (仮称)子ども未来館基本計画について

- ✓ 6月30日～7月20日にパブリックコメントを実施し、その結果を踏まえて8月10日に基本計画を策定
- ✓ 備後圏域内の施設との連携や小・中学校の受入れによる事業を予定

### 【基本理念】

知的好奇心を喚起し、未来に向けて挑戦する心を育む

“STEAM教育”分野に“歴史”の視点を取り入れた分野を取り扱います。

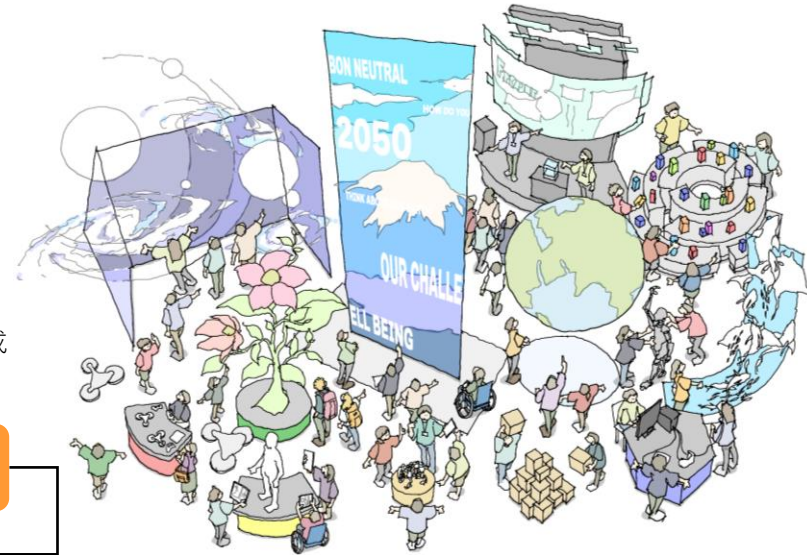
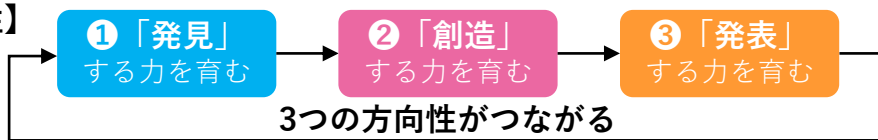
### 【ターゲット】

子どもから大人まで楽しく学ぶことのできる施設とし、メインターゲットは小学校高学年から中学生とします。

### 【目標像】

- ① 新しい技術の体験や知識の獲得
- ② 課題発見・解決能力の向上
- ③ 主体的な参加を通じた自己肯定感の醸成
- ④ 多様な主体とのつながり

### 【事業の方向性】



▲子ども未来館のコンセプトイメージ

## (3) (仮称)地域未来ビジョンについて

- ✓ 民間事業者や住民などが主体となりテーマや地域ごとに協議会を立ち上げ、めざす将来像や個性豊かな資源の活用策、取組のロードマップを示した(仮称)地域未来ビジョンを策定

### 【地域資源活用に向けた強化ポイント】

- 外部からの評価を活かした他都市との差別化 → 「独自性」
- 自然環境や文化財などの地域資源の保護・継承
- 観光とくらし(生活・仕事)の両立
- 地域資源の魅力をより深く知る → 「交流・学び」
- 既存コンテンツのブラッシュアップによる効果的な誘客 → 「体験」
- 地域資源をつなぎ、エリアでの滞在時間延長を狙う → 「周遊」

⇒ 備後圏域の資源との連携も含め、各協議会で検討

資源活用のイメージ▶



# 4 閉会